

OKAYA

チャリティーコンサート 2023

～感謝の夕べ～



【ピアノ】

沢田蒼梧



【指揮】

園田隆一郎



【ヴァイオリン】

中原梨衣紗

【オーケストラ】 名古屋フィルハーモニー交響楽団

2023. 7/26 [水]

全席指定 1,000円 (税込)
開場18:00 / 開演18:45

愛知県芸術劇場コンサートホール

PROGRAM

メンデルスゾーン：劇音楽「真夏の夜の夢」序曲

ブルッフ：スコットランド幻想曲

チャイコフスキー：ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調

主催：岡谷鋼機株式会社

プレイガイド

アイチケット 0570-00-5310 <https://clanago.com/i-ticket> (ネットで席が選べます。)

芸文プレイガイド 052-972-0430

チケットぴあ <https://t.pia.jp> (Pコード: 239-013)

お問合せ：クラシック名古屋 ☎052-678-5310

2023年
4月8日(土)
一般発売開始

チケット売上金全額を社会福祉法人愛知県共同募金会を通じて、地域の社会福祉向上に役立てさせていただきます。

※未就学児のご入場はお断りいたします。 ※やむを得ない事情により出演者・曲目・曲順が変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

※車椅子席をご希望のお客様はクラシック名古屋にお問合せください。 ※自治体等のガイドラインに基づく新型コロナウイルス感染予防対策を実施することがありますので、ご協力をお願いいたします。



© Fabio Parenzan

園田 隆一郎【指揮】

SONODA Ryuichiro, Conductor

1976年生まれ。小学1年生～高校3年生までを春日井市で過ごす。東海中学校・高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部指揮科、同大学大学院を修了。ボローニャ歌劇場、トリエステ歌劇場などを指揮し、国際的な活動を展開する気鋭の指揮者。オペラ、シンフォニーの両分野で活躍する指揮者の一人。2006年、シエナのキジアーナ夏季音楽週間『トスカ』を指揮してデビュー。翌年、藤原歌劇団『ラ・ボエーム』を指揮して日本デビューを果たす。同年夏にはペーザロのロッシーニ・オペラ・フェスティバル『ランスへの旅』を指揮、その後もカタニアのペリーニ大劇場、ジェノヴァ歌劇場、フランダース・オペラをはじめ国内外のオペラへの出演やオーケストラとの共演を重ねている。2022年は、びわ湖ホール『ファルスタッフ』、大阪国際フェスティバル『泥棒かささぎ』、藤沢市民オペラ『ナブッコ』および『ラ・ボエーム』、北海道二期会『皇帝テイトの慈悲』、大阪交響楽団名曲コンサートなどに出演。2023年には日生劇場開場60周年記念公演ルイーゼ・ケルビーニ『メデア』（日本初演）、三河市民オペラ『アンドレア・シェニエ』などのオペラ公演およびオーケストラ公演に出演を予定している。2004年シエナ・ロータリークラブ カルロ・コルシーニ音楽賞、2005年第16回五島記念文化賞オペラ新人賞、2017年度第16回齋藤秀雄メモリアル基金賞、令和4年度第73回芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。藤沢市民オペラ芸術監督。パシフィックフィルハーモニア東京 指揮者。



沢田 蒼梧【ピアノ】

SAWADA Sohgo, Piano

1998年生まれ。半田市在住。6歳よりヤマハ音楽教室にてピアノを始め、山口延子・山脇一宏講師に師事。15歳より関本昌平氏に師事。医学との二刀流で数々の権威ある国際コンクールに出場し、NHK「ショパンに挑みし者たち～2021ショパン国際ピアノコンクール～」 「さらさらサラダ」出演を始め、TV・新聞・雑誌など多くのメディアで取り上げられる。2021年第18回ショパン国際ピアノコンクール本大会二次審査進出。2018年ジュネーブ国際音楽コンクール（スイス）最年少ベスト16入選。2019年仙台国際音楽コンクール出場、審査員アンドレア・ボナッタ氏推薦によりピアノアカデミーエッパン（イタリア）プロフェッショナル部門参加、グスタフ＝マーラー・ホールにおける選抜演奏会出演。これまでにシレジア・フィル（ポーランド）、東京シティ・フィル、大阪交響楽団、名古屋フィル、中部フィル、グランブル管弦楽団等と共演。紀尾井ホール、住友生命いづみホール、三井住友海上しらかわホールを始めとする国内各地、及びワルシャワにてソロ・リサイタル開催。東海中学校・高等学校6年連続首席卒業。名古屋大学総長顕彰受賞。今春、名古屋大学医学部医学科卒業。



中原 梨衣紗【ヴァイオリン】

NAKAHARA Riisa, Violin

2008年生まれ。岡崎市出身。2018年第72回全日本学生音楽コンクール小学校の部名古屋大会第1位、全国大会第1位、併せて兎東賞、東儀賞、かんぼ生命奨励賞、毎日子ども新聞賞受賞。2019年第12回アルテュール・グリュミオー国際音楽コンクール（ベルギー）10歳以下の部第2位、シンガポールヴァイオリンフェスティバルコンクール（シンガポール）16歳以下の部第3位、第18回クロススターシェンタール国際ヴァイオリンコンクール（ドイツ）14歳以下の部第1位及びヴィルトゥオーゾ賞受賞。2020年シュロモ・ミンツ氏主催、UNCHR（国連難民高等弁務官事務所）の新型コロナウイルス感染症難民支援のためのチャリティーコンサート「United in Music」に世界30か国の演奏家チームの一員として参加。2021年第75回全日本学生音楽コンクール中学校の部名古屋大会第1位、全国大会第1位、併せて兎東賞、東儀賞、音楽奨励賞、横浜市民賞（聴衆賞）受賞。2022年〈OKAYA チャリティーコンサート〉で下野竜也指揮／名古屋フィルとプロコフィエフ「ヴァイオリン協奏曲第1番」を共演。現在清水高師、平田文の両氏に師事。愛知教育大学附属岡崎中学校3年在学中。



名古屋フィルハーモニー交響楽団

Nagoya Philharmonic Orchestra

愛知県名古屋市を中心に東海地方の音楽界をリード。その革新的な定期演奏会のプログラムや、充実した演奏内容で広く日本中に話題を発信。愛称は“名（めい）フィル”。2023年4月川瀬賢太郎が第6代音楽監督に就任。他に現在の指揮者陣には小泉和裕（名誉音楽監督）、小林研一郎

（桂冠指揮者）、モーシェ・アツモン（名誉指揮者）、ティエリー・フィッシャー（名誉客演指揮者）が名を連ねる。2023年4月小出稚子が第4代コンポーザー・イン・レジデンスに就任。1988年ヨーロッパ2か国（広上淳一指揮）、2000年アジア8か国（本名徹次指揮）、2004年「ブラハの春」国際音楽祭から正式招待を受けたヨーロッパ3か国（沼尻竜典、武藤英明、トマーシュ・ハヌス指揮）、2006年アジア7か国（下野竜也指揮）のツアーを実施。1990年東海テレビ文化賞、1991年愛知県芸術文化選奨文化賞、1997年文化庁芸術作品賞レコード部門、2020年第32回ミュージック・ペンクラブ音楽賞 クラシック分野 現代音楽部門賞受賞。楽団創立は1966年7月10日。1973年に名古屋市市の出捐により財団法人に、2012年に愛知県より認定を受け公益財団法人となる。現在はバラエティに富んだ年間約110回の演奏会に出演。